

が良いと思うが、家庭の問題、共稼ぎの問題、住宅の問題などがあり、そうならない事実がある。

## 地元農産物の消費拡大

原 紀夫議員

本年7月より町主催により、札幌国際大学と連携し、3回にわたり農業をいかした地域観光振興策等のまちづくり講座が開講されたが、今後この講座を本町においてどのようにいかそうとされているか伺う。本町の新鮮農作物需要は相当数の消費購買力があるにもかかわらず、販売所等がないため他町に流出している現状にある。以前から道の駅や物産センターの必要性を認めているが、次年度に向けた対策を講じる必要があると思うがいかがか。

高薄町長

札幌国際大学とのアカデミー事業は、農産物に

ついて大学側の方法論を多くの町民に知ってもらうように講座を開いた。本町の農産物は、安定的な生産体系ができることから、多くはJAやホクレンを通して販路が築かれているが、今後は地元で販売ができないか検討しなければならず、道の駅あるいは物産センターがあったほうがいいという考えに変わりはない。一部商工業者が来年度から用地さえあればテナントでもやってみようという話も出ており、支援をしていかなければならないと思っている。

## 予防医療対策

原 紀夫議員

医療費の大幅増加に伴い町財政は圧迫されている現状にある。本年度より予防医療に力を入れる旨述べているが、対策の進捗状況について伺う。患者本人の自覚と行動が

大きな要素と思うが、病院や医師との共通理解がより重要と考える。心疾患時の緊急対策等含めて以前から要請しているが現状はどのようになっているか伺う。

高薄町長

予防医療対策は、今までも医師との懇談により早期治療の努力をしていただいているが、今後、レセプトと健診データとを突合し、より重症化にかかわるような対象者を選定し予防対策をしていきたい。新たに特定健康診査という制度ができ、一層の連携を図っていかなければならぬことから、医療全般にわたる懇談や会合を開きながら健康PR活動を進めていきたい。

## 町民一人ひとりの心がけで

## 医療費の削減を

安田 薫議員

6月の定例会において、国民健康保険税が増額さ

れた。町民には増税の理由が分からない、納得できないとの声がある。増税の理由が、清水町には医療機関が十分すぎることにこの話があったが、他町村と比較して恵まれているうちに次の手を打つ必要があるのではないかと、次の4項目について伺う。

- ①町民一人当たりの医療費は。
- ②年代における医療費の比較は。
- ③医療費の無駄遣いはないか。
- ④町内医療機関と行政の連携は十分か。

高薄町長

平成18年度の状況で答える。

- ①一般被保険者は22万8643円、退職被保険者は43万5859円、老人保健対象者は102万9317円。
- ②一般被保険者は道内の173保険者中14番目で低い方、退職被保険者は90番目で平均より若干高く、老人保健対象者は31番目

で町村平均より10万円程度高い。

- ③高齢者にみられる多重受診があり、国保連合会からレセプトがくるので訪問実施しているが、依然として減少していない。
- ④従来から医療懇談会等で、医師、看護師、保健師、栄養士等と連絡調整、相談を含めて実施しており、今後もより一層連携を深めていきたい。

## 御影パークゴルフ場外周のランニングコース整備

安田 薫議員

- ①暗くなつてから走る利用者にとって事故はなかったか。
- ②雑草が生えて滑りやすかったり、時々見られる自動車のわだちの補修はできているか。
- ③せっかくの照明が整備されている。安上がりで照明を利用することはできないか。

横山教育長

- ①開設時から事故はなかったと認識している。
- ②本年度から指定管理者制度を適用してNPO法人に管理業務を委託しており、コース内への車両の進入は車両止めを設けて対応している。わだちが若干残っているが、歩行やランニングに大きな影響はない。
- ③夜間照明は、平成14年度から町財政健全化計画で取りやめ、新たに経費をかけての利用は難しい状況である。



NPO法人に管理を委託している御影パークゴルフ場